

# 地域の声政策に反映

大崎

県議会改革  
改革みやぎ

## キャラバン初開催

県議会の民主党系会派

「改革みやぎ」は11日、

大崎市古川のグラウンド平  
成で衆院宮城4区内の自  
治体関係者や住民と意見  
交換する「政策キャラバ

ン」を開催した。

地域の声を議会活動に  
生かそうと、初めて企画  
し、所属県議と4区の党  
衆院議員石山敬貴氏が出  
席。地元からは大崎市の

伊藤康志市長や加美、大  
和、富谷各町と大衡村の  
幹部、住民ら計約70人が

参加した。

改革みやぎの藤原範典  
会長が「机上の議論だけ  
では政策は生きたものに  
ならない。皆さんの意見  
を会派のマニフェスト

(公約集)に反映させた  
い」とあいさつ。石山氏  
と所属県議が国と県の2

010年度予算の概要や  
特徴を説明した。

会場からは「国会議員  
数を減らすという公約の  
進行状況はどうか」など  
の質問が出た。「市町村  
でも事業仕分けを行って  
ほしい」「障害者が地域  
で育ち、暮らせるような  
施策を望む」といった要  
望が相次いだ。

14日には宮城3区の柴  
田町で実施する。